

「スクがある」と主張し全面張替えを勝ち取る、というものでした。この流れを随時議会に報告、昨年四月会議にて議決を得たので、四月十九日、りんかい日産建設の本社がある東京地方裁判所に、同社、千町村建築研究所、下請屋根施工業者の東関東工業（茂原市）の三者を被告とし、全面張替え費用四千万円を請求する訴訟を提出しました。



『今後』
この時点で生徒の安全を考え、夏休み中に全面張替えを行いたい考えでしたが、当方弁護士から裁判終了まで証拠保存した方が良く、との助言をもらい、最大限の防災処置（防水剤塗布、飛散防止ネット、押さえワイヤー）を施し結果を待つ考えです。

裁判は二カ月に一回のペースで議論が開かれています。弁護士からは、「二年位かかる。刑事事件とは違い白黒つけるのではなく、調停によって落とし所を探る。請求額の何割勝ち取れるか。勝つ要素は高いが100%ではない。」と言われています。

村の広報では、紙面の都合上特集できませんでした。今後大きな動きがあった際には、後援会報にて報告いたします。

私は、裁判の結果いかに関わらず中学校の屋根全面張替えを行う覚悟ですが、裁判に勝てず、その費用四千万円から六千万円を業者に負担させられない場合、その責任を誰に請求すればいいのか悩んでいます。住民監査請求が提出され、当時の最高責任者（前村長）に賠償請求がされるとなると大変です。

恒例の村政報告会を開催

平成三十年十二月八日、文化会館視聴覚室において小高村長による村政報告会が開催され、参加した多数の会員に熱弁をふるいました。その内容を報告します。

■報告内容

一、八積駅周辺環境整備事業の現況

二、平成三十年度事業の進捗状況

■質疑応答

Q 一松の県道十字路で信号機がなく見えづらい危険な場所があるので、信号機の設置も含めて検討して欲しい。

A 何度も事故が起きている。渋滞・交通量などの問題があり信号機の設置は難しいと思うが、担当課で検討させていただきます。

Q 交流センター（仮称）の部屋配置アンケートを実施したがどのよう活用されているか。

A 十人程度で使う小さな部屋は、

パーティションで仕切る。トイレニングルールの要望は残念ながら難しい。色々な要望があったが、全体で使いやすい折衷案でおおむね決定した。

Q 交流センター関連で、敷地内に軽食（ソフトドリンク・ながいきそば）がとれる施設をNPO法人として設置して欲しい。

A 民間の有志グループで要望があれば考えます。

Q 展示コーナーではなく鍵のかかる展示室として欲しい。

A それは難しい。今後八積駅の橋上化ができれば通路に設置を考えたい。

Q 救急医療体制を改善して欲しい。（救急車が到着しても病院の手配に五分要した）

A 長生病院の体制強化を含め長期的に考えたい。

Q 三時間経過した火災の鎮火放送は「只今の火災は」でなく「先ほどの火災は」となるのではないかとおっしゃるとおりです。担当課に指示します。

Q 八積駅から双葉電子に通じる道路で、二平踏切付近の曲がりくねった道路の改良はどうなっているか。

A 以前あった、立派な植木が整理されたので地権者と協議していき

たい。



小高後援会長



小高村長

◇おだか陽一後援会員および女性部ズランの会員を募集しております。

【申し込みはおだか陽一後援会事務所、またはお近くの役員までお願いします】

おだか陽一公式ホームページは下記のURLまたは
＜おだか陽一＞で検索して見てください。
<http://odakayoichi.com/>

Q シングルマザーが多くなっていることだが、働く意欲はあるのか。また、働けない事情が分かっているのか伺いたい。

A 働く意欲は持っているが、企業誘致は難しく働く場所がないのが一番の課題。色々な道を探って働き先を確保していきたい。

Q オリンピックサーフィン競技（一宮町）の情報が多量にも少ないので公表してください。子どもたちにも楽しんでもらいたいので子どもでもできるボランティアがあるか伺いたい。

A 正直いって情報はほとんどない。小学生・中学生がなにを希望し、実現のために役場はなにをしたらいいか今後検討したい。選手・観客で当日は約4千人集まる。子どもたちに夢があって、記憶に残って、いい体験をしたな、と思うよう今後研究したい。